

アルファ・ウイン 企業調査レポート

デジタルメディアプロフェッショナル (3652 東証マザーズ)

アルファ・ウイン 調査部
<http://www.awincap.jp/>

● 要旨

◆ 2018年3月期決算は従前予想並み

- ・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）の2018/3期決算は、売上高が前期比40.3%増の973百万円（3Q決算公表時予想1,000百万円）、営業利益は69百万円（同70百万円）、経常利益は66百万円（同70百万円）、純利益は109百万円（同110百万円）と、ほぼ従前予想並みであった。
- ・自己資本比率は88.2%と前期末比5.4%ポイント低下した。これは、期末自己資本（1,870百万円）は前期末比204百万円増加したが、ソフトウェア資産等の増加により期末総資産（2,121百万円）が同340百万円増加したためである。

◆ 2018年3月期決算のセグメント別概況等

- ・2018/3期決算の事業セグメント別売上高をみると、
 - ア) IP コアライセンス事業は326百万円（前期比28.9%増）。デジタルカメラ向け新規ライセンスや、既存顧客向けのランニングロイヤリティが好調であった。
 - イ) LSI 事業は150百万円（前期1百万円）。バンダイナムコホールディングス（7832 東証一部）の完全子会社であるバンダイナムコエンターテインメントとの共同開発によるアミューズメント機器向け画像処理プロセッサ「RS1」を量産開始したため、大幅増収となった。
 - ウ) その他の事業は497百万円（前期比13.2%増）。車載メーカー向け人工知能（AI）関連の受託開発や、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの受託している「省電力AIエンジン受託開発」等を計上したため前期比二桁増収となった。
- ・RS1が量産開始となったことから研究開発費は前期比291百万円減少し164百万円となった。研究開発費の減少を受け販売費及び一般管理費は同252百万円減の458百万円となり、営業利益は69百万円と前期263百万円の損失から大きく改善した。
- ・保有する外貨建て預金の評価替えにより為替差損6百万円を営業外損失に計上したこと等から、経常利益は66百万円（前期は262百万円の損失）であった。
- ・また、販売代理店契約の解消に伴う清算金51百万円を特別利益として計上したこと等から、純利益は109百万円であった（前期は365百万円の損失）。

◆ 2019年3月期業績予想

- ・2019/3期業績について同社は、売上高1,200百万円（前期比23.2%増）、営業利益100百万円（同43.3%増）、経常利益100百万円（同50.6%増）、純利益90百万円（同17.6%減）を見込んでいる。セグメント別売上高予想は開示していない。
- ・同社が増収を見込むのは、IP コアライセンス事業及びLSI事業の増収によるものと考えられる。IP コアライセンス事業では、AI機能を持つ機器のFPGA（書き換え可能な論理回路LSI）向けにAI関連のライセンス販売が本格化するためと思われる。LSI事業では、RS1の出荷量が前期より増大するためと推測される。
- ・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の2019/3期予想は、前回予想を踏襲し売上高1,200百万円

決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様から本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならないと、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

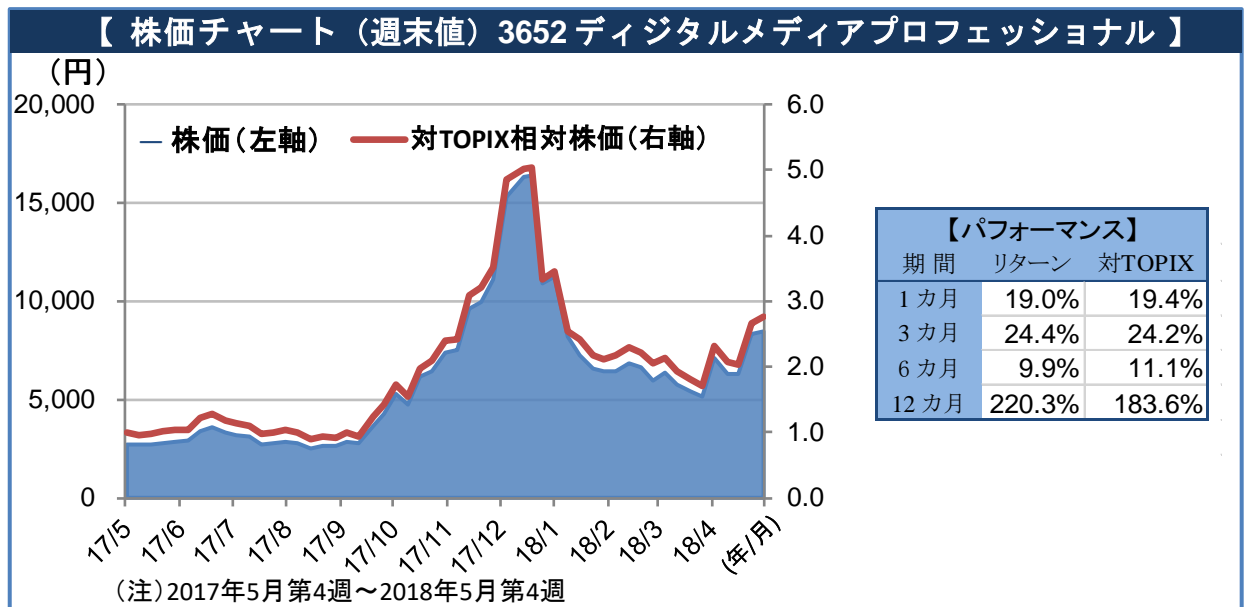
(前期比 23.2%増)、営業利益 300 百万円 (同 329.9%増) である。売上総利益率について、当調査部の想定が同社の計画よりやや高いためと考えられる。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業 】											
決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2016/3	733	58.1	-176	—	-193	—	-64	—	-23.89	736.12	0.0
2017/3	694	-5.4	-263	—	-262	—	-365	—	-134.37	609.89	0.0
2018/3	973	40.3	69	—	66	—	109	—	39.64	671.93	0.0
2019/3 CE	1,200	23.2	100	43.3	100	50.6	90	-17.6	32.16	—	0.0
2019/3 E	1,200	23.2	300	329.9	300	351.8	270	147.3	96.97	767.84	0.0

(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想

【 株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】							
項目	2018/5/25	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向	
株 価 (円)	8,450	前期実績	213.2	12.6	—	—	
発行済株式数 (千株)	2,784	今期予想	87.1	11.0	—	—	
時価総額 (百万円)	23,529						
潜在株式数 (千株)	30	前期末自己資本比率	88.2%	前期ROE	6.2%		

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想



ディスクレーマー

アルファ・ウイン 企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼により、アルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートでは、企業の保有する独自の製品・サービスや技術など、持続的成長に必要な競争力の源泉を明確に描き出すとともに、企業の外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリーで分析するSWOT分析の企業戦略評価への活用、KPI（業績指標）やガバナンスの確認等も行っております。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。